ずーっとここで暮らしたい そんなまちづくりを目指して

１４議員が一般質問

質問は９月６日、９日、１０日の３日間で行いました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

問 ハンドボール でトモダチ作戦を
答 市を挙げて聖地化する

鈴木康夫　議員（一新会）

問 毎年行われている小学生ハンドボール大会を、さらに盛り上げ、まちおこしにつなげよう。名付けて、京田辺版トモダチ作戦の展開。そのために新聞全国紙とのタイアップ、特産品での「お・も・てな・し」、オプショナルツアー、選手の立場にたった運営改善を提言する。特に、東日本大震災復興支援という冠があるが、東北チームの参加がないことは寂しい。全国的な広がりを持たせるには、マスコミの活用は必須である。

教育部長 中学校では地方紙と全国紙との複数後援が実現したことを初めて知った。全国紙とのタイアップはハンドボール協会と協議する。現在、36都道府県、70チームの参加であるが、さらに全国に発信できる大会になるよう関係部署、関係機関と連携して取り組んでいく。

市長 義務教育の中での大会ではあるが、ハンドボールの聖地として看板倒れにならぬよう、市を挙げてステップアップしていきたい。

問 長寿社会のまちづくりに向けて医師会との連携、地域包括支援センターの活用、いきがい就労支援の現状と今後の展開は。

健康福祉部長 在宅医療など個々のケースや事業で医師会との連携は不可欠であり、さらに深化を図る。３カ所目の地域包括支援センターを平成26年４月に宝生苑で開所する。シルバー人材センターでは、新会員確保、会員高齢化などの課題について協議を重ねる。

問 市の関係する団体の役割、担当部署、補助金の有無など市民目線に立った総一覧表の作成、公開を望む。

市民部長 市民活動を促進するため、市民活動情報ウェブサイトをホームページ上に開設している。事務所の所在地、会員数、活動内容を示している。

36都道府県から70チームが参加した全国小学生ハンドボール大会

問 学童保育 ６年生まで受入れを
答 需要計画 示す準備を進めている

水野恭子　議員（共産党）

問 学童保育は６年生まで受け入れを。昨年、「児童福祉法の改正」により、対象児童は、小学校に就学している児童とされた。このことにより、本市も６年生まで受け入れできるように実施すべき。また、指導員の待遇改善と桃園小学校の一部屋に多人数の受入れ解消とトイレの増設を。

教育部長 法律の改正により、６年生まで受け入れができるよう、需給計画を示すため、準備を進めている。設備改善については、国の基準づくりを見て検討する。

授業が終わり宿題をする児童（桃園小学校学童保育）

問 軽度・中等度の難聴児へ補聴器購入費の補助を。子どもの発育にとって、言語の獲得が大事である。身体障害者手帳は、両耳70デシベル以上でなければ、受けられない。10万円にもなる購入費用は、全額自己負担である。そのため、全国で18歳までの補聴器購入の助成制度が広がっている。精華町や木津川市でも行われた。ぜひ、本市も実施すべき。

健康福祉部長 他市の助成制度の内容も調査し、参考にして、検討したい。

問 難聴者にとって、補聴器を使用してもあらゆる音が聞こえ、聞き分けが困難である。この限界をカバーするため、磁気ループシステムがあるが、ぜひ活用すべき。

健康福祉部長 場所によって、聞こえの程度に差があるため、活用は考えていない。

問 学校図書館に専任の司書が配置され、大変喜ばれている。教育効果を発揮するために、３校に１人でなく全学校に１人の司書配置をすべき。

教育部長 当面は、現在の体制で進めたい。

問 視覚障がい者の外出を保障するために、大住ケ丘交差点に、音響式信号機設置を。

建設部長 自治会からも要望が出ている。必要性は認識している。府に要望する。

問 天津神川 整備改修を早急に
答 整備について府と協議中

小林喜代司　議員（自民・新栄会）

問 本市の中心市街地を流れ、上流域で住宅開発が進み河川への流量が非常に増えている天津神川の整備については、流域に居住されている多くの市民の安全・安心を確保するために再三、整備、改修の要望を行ってきた。平成24年夏の京都府南部豪雨による宇治市での天井川の決壊を受けて、府では天津神川を早急に整備する河川に指定されたが、現在、府と本市で整備について、どのような協議をされているのか。災害を心配されている流域に居住されている市民に理解と納得のできる説明を求める。

天津神川水路橋を監視する防災カメラ

建設部長 24年に発生した京都府南部豪雨を受け、府では直ちに天井川の総点検を行い、その結果損傷が見られた河床、護岸の緊急補修や水位計、河川防災カメラが設置された。25年度は天井川区間の施設補強のための調査及び府道八幡・木津線を横断する水路橋の耐震補強、水路断面の改良に係る詳細な設計を行うと聞いている。

問 高齢化率も高く普賢寺小学校の対策も含めて早急な対策を求められている普賢寺地域の振興方策について、再三要望を行ってきた。その後この地域の振興方策について関係者とどのような協議を行ってきたのか。また、市としてどのような計画をされているのか。

副市長 普賢寺地域は農業だけではないが農業を非常に重要な柱として振興策を講じていく必要がある。具体的に地域の方々と話し合いを始めた段階である。

経済環境部長 25年度から普賢寺でのライトアップ事業など多くの市民との交流の機会拡大の取り組みを始めた。地域の方々で構成されている団体や農業委員会、ＪＡ、大学等関係団体と地域の活性化に向けて協議を進めている。

議会日誌

【8月】
1日　広報編集特別委員会
6日　公明党会派研修（～8日）
8日　静岡県藤枝市議会行政視察来庁
12日　議会改革特別委員会（19日）
23日　文教福祉常任委員協議会
27日　議会運営委員会（30日）
29日　市町村議会広報研修会

【9月】
3日　第3回定例会〈議案上程〉
6日　第3回定例会〈一般質問〉
9日　第3回定例会〈一般質問〉
10日　議会改革特別委員会〈一般質問〉
13日　建設経済常任委員会・協議会
17日　総務常任委員会
18日　文教福祉常任委員会
19日　議会運営委員会（26日）
24日　第3回定例会〈議案採決〉
30日　広報編集特別委員会

【10月】
2日　建設経済常任委員協議会
3日　福岡県筑紫野市議会行政視察来庁
4日　決算特別委員会（16日、18日、22日、23日、30日）
8日　議会改革特別委員会管外研修（～9日）
10日　広報編集特別委員会（17日、25日）
16日　北海道網走市議会行政視察来庁
22日　草内小学校議場見学
23日　近畿市議会議長会
25日　議会改革特別委員会
31日　長崎県諫早市議会行政視察来庁
京都府市議会議長会

（以上主なもの）